
2012年：マヤの予言についての考察？

斎藤 君亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2012年：マヤの予言についての考察？

【コード】

N0802BA

【作者名】

斎藤 君亜

【あらすじ】

2012年、私たちはマヤの予言という名の幻想をぶち壊せるのか？

あまり過度な期待はしないでください。絶対に落胆すると思
いますので……。。

2012年12月23日。

その日に人類の滅亡が始まるとされている。

しかし、これはあくまでマヤ文明の遺跡に描かれている暦がそこで途切れているからだけであって、それがなにを意味するかは定かではない。

ただ、偶然か必然かはわからないが丁度この年に天変地異が多く予想されている。

これについては日本では東京に直下型の大地震が来ると予想されているし、さらにいえば富士山の噴火も考えられるそうだ。

更に世界単位で見れば、『スーパーボルケーノ』という「それがどれか一つでも噴火すれば、世界の大半を滅ぼせる」という火山が活動的になっているとか、かなり低確率ですが1km級の隕石の衝突とか……あとは『アトランティカ』という水中に存在する超大陸の浮上に、太陽風による広範囲の停電、電波障害などなど。

実に様々なことが予測されます。

これらすべてに対して、対策を立てることなど絶対に不可能。

例えば地震や噴火は予測はできても止めることはできないし、太陽風に至ってはそもそも対策を立てることすら馬鹿らしい物だし、『アトランティカ』の浮上は予測も対策もできない。

それでも、できる物の例を上げれば、隕石はミサイルでの撃墜は可能だろうし、地下シエルターを造っておけば津波などの心配は無い。

さらに、太陽風が来る前に一時的に全都市の発電所を止めて太陽風が過ぎた後に一気に復興させれば、電気の供給は可能だ。

最後になってしまいが、私には言っておきたいことがある。

2012年に人類が減じる。

それは必ずしも起こる事象ではない。

昔の人がそう思って暦を残さなかったのなら、昔の人々がこの時代で人の時代が終わると告げているなら、それは現代人われわれに対する警告だと思う。

なら現代人はその予言を打ち壊す必要がある。

なぜなら、このマヤ人の予言は警告であって、後にその出来事に直面するだろう私たちへの唯一の生き残るチャンスなのだから。

だから私たちは、もし、本当にそういう事が起きても手を取り合って生きていこう。

私たちは？悪？でもなく、はたまた？偽善者？でもなく一人の？人間？として、生き残れる事を自分に期待したい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0802ba/>

2012年：マヤの予言についての考察？

2012年1月2日00時49分発行